

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成26(2014)年1月15日発行(第164号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

高松駅高速バスターミナル

昨年10月1日、JR高松駅南側に、待合所の壁面に庵治石を使って高松らしさをアピールした高速バス専用のバスターミナルが完成し、運用を開始しました。これにより、路線バスとの混雑解消が期待されます。

平成25年
12月定例会

冬号

目次

- 代表質問 …… 2～4
- 一般質問ほか …… 5～7
- 情報BOX …… 8

定例会の日程

- 12月4日 開会・決算審査特別委員長報告・採決・提案説明
- 9・10日 代表質問
- 11・12日 一般質問
- 13日 一般質問・特別委員会審査
- 16日 常任委員会審査
- 18日 委員長報告・採決・閉会



駅からは雨に濡れずにターミナルに移動できます。

今定例会で決まった主な内容

- 補正予算
 - ▽ 公共交通機関相互の乗り継ぎ割引の拡大に伴う運賃差額等を補助するための予算
 - ▽ 瀬戸内海、屋島の魅力を積極的に発信し、本市のブランドイメージの向上を図るための予算
 - ▽ 障害者福祉タクシー助成事業の制度改正に伴い、関係者への周知等の準備行為を行うための予算
 - ▽ 鉄道事業者が実施する緊急輸送道路と交差する高架橋の耐震対策事業を補助するための予算
- 条例
 - ▽ コミュニティセンターの利用料金の上限額を改定するための条例改正
 - ▽ 入院医療費に係る助成対象年齢を15歳までに引き上げるための条例改正
 - ▽ 文化芸術の振興を図り、市民が生き生きと心豊かに暮らせる魅力ある高松の実現に寄与するための条例制定
 - ▽ 消費税法等の一部改正に伴い、使用料等の額を改定するための条例改正

〔市長提出議案〕

平成25年第6回高松市議会定例会は、12月4日から18日までの15日間の日程で開かれました。今定例会では、平成24年度一般会計・特別会計歳入歳出決算など4件を認定するとともに、平成25年度一般会計補正予算など88議案を可決しました。また、陳情2件を不採択としたほか、人事案件5件に同意し、農業委員会委員を推薦しました。

代表質問

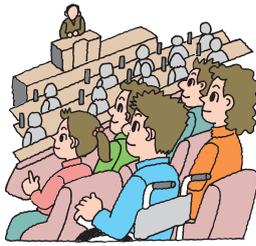
各会派を代表して、三笠輝彦（同志会）・吉峰幸夫（補う組）・中村伸一（公明党）の3人の議員が質問しました。

質問の主な内容

三笠輝彦議員（同志会）
政治姿勢・行財政・まちづくり・防災・瀬戸内国際芸術祭・産業振興・農業・教育

吉峰幸夫議員（補う組）
非常勤職員の雇用条件・介護保険制度・高松型子ども園・小規模ため池の防災対策・病院事業など

中村伸一議員（公明党）
健康都市・教育・若者支援



行財政

地域行政組織再編

再編後に市民サービスの低下を招かないよう努める

平成24年11月に策定した地域行政組織再編計画基本構想では、現在の本庁と支所・出張所の二層構造を、本庁・総合センター（仮称）・地区センター（仮称）の三層構造に再編するとしています。

質問 再編に当たって、行政の効率化やコストの削減だけでなく、市民サービスの向上も図るべきである。特に市民に最も身近な地区センターでは、絶対に市民サービスを低下させない職員体制が必要と考えるがどうか。【同志会】

答 再編に当たっては、事務量に応じて必要な人数を確保するとともに、市民サービスについての幅広い知識を持った職員の養成・配置を図ることで、市民サービスの低下を招かないよう努める。

全庁体制で市有債権の収納率向上に取り組む

自主財源確保が重要な課題となる

中、納付相談等に対応する職員の資質向上や、納税者のニーズを的確に捉えた納付環境の改善等により、市税等市有債権の収納率向上に努める考えは。【同志会】

質問 収納率向上には、職員の資質向上が重要であるため、今年度から収納担当者実務研修会を年3回実施する。

答 また、来年度からは、国民健康保険料等にもコンビニ収納を拡大すべく準備を進めるほか、近く水道料金等にクレジットカード払いを導入するなど、納付環境の利便性向上に努め、全庁体制のもと、全力を挙げて市有債権の収納率向上に取り組む。



都市計画道路

必要性や費用対効果等も考え、未着手区間の廃止なども含めて見直しを検討

質問 都市計画道路の未着手区間は、路線の必要性や投資効果、人口減少の一層の進展など社会経済情勢の動向を的確に捉えながら検討を進め、廃止・縮小すべきと考えるがどうか。【補う組】

答 都市計画道路の見直しに当たっては、社会経済情勢の変化や、現在、県で進められている都市計画基礎調査の結果等を踏まえて対応する必要がある。

また、各路線の必要性や費用対効果等も考え、未着手区間の廃止なども含めた見直しを検討する。

防災

救助活動等の体験をもとにした助言などを積極的に取り入れるよう学校を指導

質問 子供たちが、消防職員やボイスアウト出身者等との交流を

深め、現場の体験談などを学ぶことは、他者を思いやる心の育成につながり、大災害に備える力となることが期待されるので、その機会をふやす考えは。【公明党】



消防職員による防災教育の様子

答 被災現場等で救助活動をしている方から、体験談や日ごろの心構えを聞き、助け合うことの大切さを児童生徒に実感させることは大変有意義である。そのため、今後は、専門的な立場からの、体験をもとにした助言などを積極的に取り入れるよう学校現場を指導する。

機能別消防員制度
平成26年4月からの導入に向け、条例の一部改正などの準備を進める

質問 巨大地震などへの災害対策には、

地域防災体制の中核となる消防団の充実が必要であるため、大規模災害時に主に避難所の管理運営をする機能別消防団員制度を早急に導入する考えは。【同志会】

【答 弁】 防災士養成プログラムを履修した学生を活用し、避難所等で救済物資等の管理や負傷者の応急処置などを行う同制度の導入に向け、香川大学と協議・検討を重ねている。

【答 弁】 今後は、平成26年4月からの導入に向け、組織体制の確立を図るとともに、消防団条例の一部改正などの準備を進める。

まちづくり

高松天満屋閉店

コトデン瓦町ビルの魅力向上に取り組みなど、まちの活力が失われないよう対応

コトデン瓦町ビルの高松天満屋は、中心市街地南部地域で、にぎわい創出の中核を担ってきたが、平成26年3月末で閉店すると、新聞報道がありました。

【質問】 天満屋の閉店後、後継キーテナント

が長期間決まらなければ、本市経済に与える影響は、はかり知れないため、市としても積極的に関与していく必要があるが、今後の対策は。【同志会】



今年3月の撤退が決まった高松天満屋

【答 弁】 同じビルは、本市の創出に影響を及ぼす施設であるため、後継キーテナント等が早急に誘致できるように琴電と協力していく。

また、瓦町駅の交通結節機能の充実等を図り、駅ビルとしての魅力向上に取り組みほか、南部三町商店街等と連携した活性化方策も検討し、まちの活力が失われないよう対応する。

【質問】 男木島・女木島への定住に向けた環境整備に積極的に取り組む

【質問】 過疎化が進む男木島及び女木島に、

若者や子育て世代が移住し定住してもらうためには、フェリーの増便等による生活環境の改善が必要だが、両島の離島振興に積極的に取り組む考えは。【同志会】

【答 弁】 瀬戸内国際芸術祭の開催を機に、拡大した交流人口を定住に結びつけるため、両島にサテライト・オフィスの誘致を検討するなど、効果的な施策等を展開していく。

また、離島航路についても、島の活性化に役立つ航路のあり方を検討し、両島への定住に向けた環境整備に積極的に取り組む。

【質問】 空き家対策の一つとして、空き家等の適正管理に関する条例の効果などを検討

【答 弁】 空き家等の適正管理に関する条例が全国の自治体で制定され、国も空き家対策の新たな法案を国会に提出予定だが、生活環境の保全と防犯対策などを目的とした同条例を制定する考えは。【補 正 案】

【答 弁】 個人財産である空き家への行政の介入

には限界があり、現時点では、条例を制定した自治体でも顕著な成果は得られていない。

【答 弁】 しかし、法律ができれば、法に基づく空き家等対策が可能となるので、引き続き、その動向を注視するとともに、条例制定についても、対策の一つとして、その効果等を検討する。

【質問】 東部下水処理場での消化ガス発電などの導入が可能であれば来年度から事業化

【答 弁】 再生可能エネルギーの導入は、地球温暖化対策の一つとして、環境負荷の低減につながる。このため、固定価格買取制度の活用も視野に、浄水場の広大な用地を利用した太陽光発電や小水力発電や東部下水処理場での消化ガス発電を導入する考えは。【補 正 案】

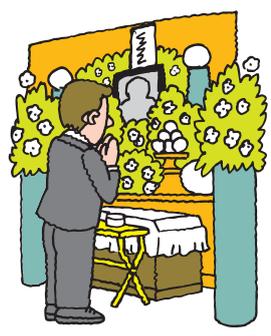
【質問】 浅野浄水場で太陽光発電と小水力発電を、また、東部下水処理場で太陽光発電と消化ガス発電を導入することについて、国・県・電力事業者と協議を進めており、可能であれば来年度から事業化する。

【答 弁】 浅野浄水場で太陽光発電と小水力発電を、また、東部下水処理場で太陽光発電と消化ガス発電を導入することについて、国・県・電力事業者と協議を進めており、可能であれば来年度から事業化する。

福祉

市民葬儀制度 葬儀内容の見直しを行い、利用者のニーズに合った制度にする

【質問】 昭和49年度から開始された市民葬儀制度に関して、今後のあり方の基礎資料とするアンケート調査が実施され、その結果が取りまとめられた。調査結果を受けて、状況の変化に応じた見直しが必要と考えるが、今後のあり方は。【補 正 案】



【答 弁】 市民葬儀の内容については、アンケート結果の満足度の高さや指摘の少なさから、大きな変更は必要ないと考える。

しかし、利用者からの生花等についての要望や、業者からの飾り付け道具についての指摘もあるので、今後、葬儀内容の見直しを行い、利用者のニーズに合った制度にする。

現在設置している健康づくり推進本部の機能充実と推進体制のあり方を検討

質問

自治体が住民の健康づくりに果たす役割は非常に重要なので、次期総合計画の大きな柱に健康都市を位置づけ、全庁的な取り組み体制を構築する考えは。

質問

健康は、最も重視なので、今後は、健康都市づくりの考え方も取り入れながら、まちづくりの新たな目標と方向性を検討し、効果の見込める事業については、来年度からの第4期まちづくり戦略計画の中で積極的に推進する。

また、現在設置している健康づくり推進本部の機能充実を、さらに図るとともに、望ましい推進体制のあり方を検討する。

世界保健機関の健康都市連合加盟に向けて総合的に検討

質問

世界保健機関の健康都市連合は、国際的な協働を通して健康都市の発展のための知識や技術を開発することを目的としており、現在の社会問題に共通の危機感を持つ自治体と本市が交流していくことは、市民にとってメリットが大きいので、加盟する考えは。

質問

同連合への加盟は、本市が健康を重視したまちづくりを、市民と協働し、積極的に推進していく姿勢を内外に発信する効果等もあることから、関連情報を収集し、加盟に向けて総合的に検討する。



農林水産

高松市中央卸売市場

花き部門の地方卸売市場への転換に向け、関係機関と協議を進める

質問

取扱高が減少している高松市中央卸売市場花き部門を活性化

するには、取引活動等の自由度が高まるなどの大きなメリットがある地方卸売市場への転換を進めるべきだが、転換に対する考えは。

質問

地方卸売市場への転換は、国の指導監督下から離れることとなり、本市の実情に応じて、施設の有効活用や、市民と市場関係者にとって相乗効果のあるイベントが実施しやすくなるなど、持続可能な市場運営に大きな効果が期待できるため、今後、転換に向け、関係機関と協議を進める。



地方卸売市場への転換が検討されている花き棟

減反廃止

地域の実情に応じた制度の構築を国に働きかける

国は、主食用米の生産量を抑制することで価格を維持する生産調整（減反）を5年後に廃止することに決定しました。

質問

減反廃止による米価の急落等で十分な収益が得られなくなれば、離農者の増加等が懸念されるが、減反政策見直しへの受けとめは。

質問

本市の実情として、小規模農家が多く、複雑な水利慣行が残るなど、経営の大規模化も見込めないため、移行期間中に円滑な経営転換と担い手の育成などが進まない場合、耕作放棄地の増加も懸念される。そのため、減反を廃止しても、地域の実情に応じた農業経営に取り組むことができる制度の構築を国に働きかける。



教育

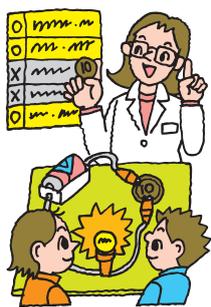
観察や実験の補助を行う理科教育支援員の小学校への配置を検討

質問

理数教育を体系化させたSTEM教育を定着させることは、技術革新を起こすようなクリイティブな人材を、創造都市高松から世界に輩出することにつながると考えるが、高松型STEM教育導入の考えは。

質問

全国的に子供たちの理科に対する興味・関心や学力の低下が指摘されており、本市の小学校でも、理科の学習状況調査の正答率は、県平均をやや下回っている。科学的な知識・思考力等の向上を図るため、STEM教育の考え方に沿い、観察や実験の補助を行う理科教育支援員の小学校への配置を検討する。



一般質問

市政のさまざまな課題について、13人の議員が質問しました。

高齢者の居場所づくり事業に団塊世代の有効活用を

西岡章夫議員（同志会）

質問

団塊世代の元気で新たな活躍の場を探している中で、本市が新規に実施する高齢者居場所づくり事業に、この人材を有効活用することが重要と考えるが、同事業の内容は。



答弁

高齢者の居場所となる拠点を、徒歩圏内1カ所を目安に、来年度から3年間で30カ所整備していく。

その役割として、団塊世代が居場所を世話することで、地域貢献や生きがいづくりにつながるのと同時に、居場所が、高齢者の介護予防や地域のボランティア活動の拠点になることを期待しているため、一定の質を確保し、安定・継続して実施できる基準を設ける。

【他の質問▼建物の維持管理・街路樹の管理など】

生活困窮者世帯の子供たちに学習支援を

岡野朱里子議員（補う組）

質問

生活困窮者世帯の子供たちへの学習支援などを、先進自治体に倣い本市でも実施し、学ぶ意欲、自立への意欲などを喚起すべきだが、その考えは。

答弁

本市でも、生活保護受給世帯の子供の高校進学率は低いため、学習支援の具体策が必要と考えている。

今後、教育委員会等とも連携を図りながら、先進自治体の取組事例等も参考に、高校進学への後押しを中心とした学習支援策を具体的に検討する。

【他の質問▼生活困窮者自立支援法など】



災害時における避難所での通信手段の確保を

竹内俊彦議員（公明党）

質問

最近の豪雨災害段が麻痺する事態が頻発しており、避難所で、避難者が安否確認に使用できる通信手段の確保が求められているが、その考えは。



答弁

さきの東日本大震災において、通信事業者が避難所に設置した特設公衆電話は、通信規制が

行われた場合でも優先的につながり、国も有効な通信手段と位置づけている。

本市も、大規模災害時の通信手段として、コミュニティセンターなどの避難所へ同電話を迅速に設置できるように、NTT西日本と協議を進める。

【他の質問▼教育委員会活性化策・小中連携教育など】

教育委員の活動状況について、ホームページ等で市民に情報提供を

香川洋二議員（無所属）

質問

開かれた教育委員会を旨指すためには、弘前市教育委員会のように、ホームページで教育委員の定例会会議録や出席行事を紹介するなど、より積極的に市民に活動状況を伝える責務があるが、その考えは。

答弁

現在、ホームページで教育委員会定例会の概要等は公表しているが、今後は、教育委員の活動状況についても、ホームページや教育要覧等に掲載するなど、先進都市の事例を参考にしながら、透明性のある一層開かれた教育委

員会となるよう努める。

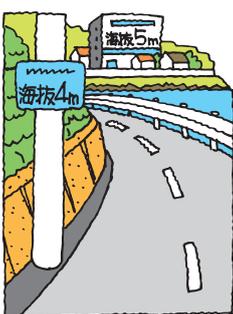


市道や公共施設に海拔表示の設置を

井上孝志議員（同志会）

質問

南海トラフ巨大地震による最高津波高が3.8mと想定される牟礼地区海岸線の住民は、既に海拔表示がされている国道11号と同様に、市道や公共施設での設置を要望しているが、その考えは。



答弁

沿岸部の津波避難ビルや公共施設に掲示している津波避難ビルマップに海拔表示を加えてい

くとともに、市道についても、設置に必要な道路施設が少ないなどの課題もあるが、可能なところから海拔表示の設置を検討する。
 【他の質問▼少子化対策・道路行政など】

**サンポート高松北側街区に
地下水族館など新たな仕掛けを**

神内茂樹議員（同志会）

質問 高松ウオーターフロントの玄関であるサンポート高松北側街区の恒常的なぎわいづくりのため、県と共同で、地下水族館などの新たな仕掛けをしていくべきだが、その考えは。



答弁 北側街区の大型テナント広場等では、家族連れで楽しめるさまざまなイベントが開催されてい

るが、恒常的なぎわいにつながっていないため、まずは、県と共同で実施した利活用方策に関するアイデア・デザインコンペの結果を反映した整備に取り組み、また、地下水族館も含めた新たな仕掛けは、中長期的な検討課題として位置づけ、対応を図る。
 【他の質問▼土地改良区・農林業・公共用地の取得】

学校教育施設の整備は、限られた予算の中でも、遅滞なく着実に実施を

大西 智議員（布ら紙）

質問 学校教育施設は、青少年の健全育成だけでなく、災害時の避難所としての役割なども持っているため、部分的な修繕や環境変化に合わせた改修は、限られた予算の中でも遅滞なく着実に実施することが求められるが、改修に対する今後の考え方は。

答弁 各施設の老朽化や劣化状況等を詳細に把握するとともに、災害時を想定した屋外トイレも含め、計画的な改修整備について、学校・地域の実情等も踏まえながら、適時適切

に対応する。
 【他の質問▼観光振興とにぎわい創出】



認知症予防対策へ、絵本の読み聞かせ活動の取り入れを

田井久留美議員（公明党）

質問 シニア世代が地域の学校等で行う絵本の読み聞かせ活動には、認知症予防に効果があることが、先日参加した講演会で示された。
 本市でも、この活動を認知症予防対策に取り入れるべきだが、その考えは。

答弁 認知症予防のため、の普及啓発のほか、仲間づくりやコミュニケーション能力等の向上を目指し、グループでウォーキングや料理など、さまざまなプログラムを企画・実践す

る予防教室を開催している。読み聞かせ活動は、絵本に関心を持つ受講者に限られるなどの課題もあるが、今後、実施した他都市の事例等を参考に検討する。
 【他の質問▼花いっぱいのもちづくりの推進など】



こども園以外の幼稚園や保育所でも、子供が受ける保育に格差が生じない対応を

岡田まなみ議員（無所属）

質問 国は、幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ「認定こども園」の拡充を進めているが、同園以外の幼稚園や保育所でも、施設によって子供が受ける保育に格差が生じないようにする考えは。

答弁 幼稚園や保育所、針となる「高松っ子いきいき

プラン」を策定し、ひとしく質の高い教育と保育を提供している。
 今後、国の動向を注視しながら、必要に応じて同プランを見直し、活用を図ることで、施設が異なっても共通の教育と保育を提供する。

【他の質問▼障害者福祉金の存続など】



塩江地区にサテライト・オフィスの誘致を

佐藤好邦議員（同志会）

質問 山間部等でITベンチャー企業などが活動するサテライト・オフィスの誘致が創造都市推進ビジョンに掲げられている。
 塩江地区では、地域経済活性化の糸口として、誘致を大いに期待しているが、同オフィスが塩江地区に誘致する考えは。

質問 創造都市推進ビジョンの実現には、本市の地域経済を支える中小零細企業が元気になる必要がある。
そのためには、財源となる基金を設置し、中小企業

中小企業が利用しやすい助成金制度の創設を
白石義人議員（同志会）



答弁 同オフィスの誘致には、光ファイバー網の整備や施設の確保、地元との協議など、解決すべき課題も多いと認識している。
今後進めていく塩江ケールの光ファイバー化の進捗状況に応じ、市有施設や空き家等の活用も視野に、誘致に向けた具体的な方策を検討する。
【他の質問▼農林水産物の市況情報等の提供など】

質問 山口県萩市の明倫小学校では、人としての生き方や友情等に関する吉田松陰の言葉を、

朗唱教育の積極的な推進を
川崎政信議員（同志会）



答弁 これまで、中小企業指導団体等育成補助金により中小企業者等の経営の近代化等を図ってきたところである。
現在のところ、基金の創設は考えていないが、創造都市推進ビジョンに基づく高松らしさが際立つ産業振興策が求められているので、そのような助成金制度のあり方を調査研究する。
【他の質問▼カマタマレー讃岐・教育問題など】

質問 今の高齢者の運転免許証自主返納

高齢者の運転免許証自主返納者は、電車・バス料金を無料または半額に
辻 正雄議員（同志会）



答弁 道徳教育の重要性が指摘される中、朗唱を通して、人として大切にしたい心構えを深く学び、自己の生き方について考えることは、児童生徒の情操を培う上で意義がある。
そのため、他市の先進的な朗唱教育の取り組みを調査研究する。
【他の質問▼超高齢社会への対策など】

毎朝、生徒が朗唱（声高に読み上げる）し、道徳の時間を初めとした全ての教育活動に生かしているが、本市でも積極的に朗唱教育を推進する考えは。

答弁 無料または半額にする制度は、免許証を持たない方に恩典がなく、公平性の面で問題がある中で、免許証の有無にかかわらず広く高齢者を対象とする支援制度を検討していく。
また、自主返納の一層の促進を図るため、現在、返納者に交付している5千円分のシニアイルカカードを、1万円程度に増額するなど、制度の拡充を検討している。
【他の質問▼新しい公共・職員の健康ケアなど】

支援制度では、恩典の魅力が不十分なので、自主返納を促すには、返納後も移動の心配がないよう、電車・バス料金を無料または半額にする制度をつくるべきだが、その考えは。

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では、審議の結果、議案等のうち65件について、採決に当たり次のとおり賛否が分かれました。賛否については、賛成の場合には○を、反対の場合は×を、会派で意見が分かれている場合は△を表示しています。

| 件名 | 議決結果等 | 同志会 | 市民フォーラム21 | 公明党 | 無所属 | | |
|--|-------|-----|----------------|-----|-----|----|----|
| | | | | | 二川 | 香川 | 岡田 |
| 市長提案 平成25年度高松市一般会計補正予算 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 消費税率の改正を反映した使用料等の変更を行うための条例改正（高松市男女共同参画センター条例の一部改正ほか61件） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 陳情 社会保障制度の拡充を求める陳情 | 不採択 | × | × | × | × | × | ○ |
| 陳情 子どもたちのために、よい教育環境をととのえる事を求める陳情 | 不採択 | × | △ (賛成1/反対6) | × | × | × | ○ |

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

情報BOX

委員会の活動など

●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

| | | |
|------|----------------------------------|---|
| 決算審査 | 10月 8・15・ 21・22・ 24・25日 | 平成24年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算、病院事業会計決算、水道事業会計決算、下水道事業会計決算について、いずれも認定して審査を終了しました。 |
|------|----------------------------------|---|

●議会運営委員会

今任期中の議会基本条例制定に向けて、10月7・23日、11月12・25日、12月20日に開き、条例の構成及び条文内容について協議しました。

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

| | | |
|------|--------|-----------------------------------|
| 総務消防 | 10月21日 | 地域まちづくり交付金の見直し、コミュニティセンター使用料等の見直し |
| | 11月19日 | 「消防署所等適正配置計画」に基づく消防署等の整備 |
| 教育民生 | 10月17日 | 高齢者、障がい者の施策・事業の見直し |
| 経済環境 | 12月16日 | 高松市伝統的ものづくり振興条例(仮称)の基本的な考え |
| 建設水道 | 11月12日 | 私道整備事業助成制度(案) |

人事案件

次のとおり推薦に同意しました。

●人権擁護委員候補者

柳瀬 治夫氏 田村 光子氏
綾田 直美氏 藤村 勇氏
蔭 久正順氏

農業委員会委員

議会推薦の農業委員に欠員が生じたので、次のとおり推薦しました。

妻 鹿 常 男

委員会を傍聴してみませんか

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>



市議会の委員会は、どなたでも傍聴できます。

(開催日時等については、事前に市議会ホームページに掲載します。)

なお、傍聴の受付は議会事務局で行っていますので、以下の道順でお越しください。

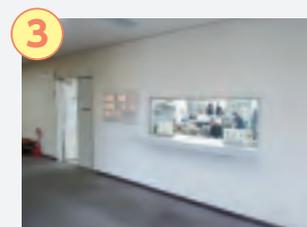
委員会受付場所の案内



1 市役所正面玄関右側の議会棟入口より、お入りください。



2 入ってすぐ右手にある議会棟エレベーターで3階までお進みください。



3 エレベーターを降りていただくと、右手に議会事務局がございます。

議会事務局の受付で、委員会傍聴申込書に住所・氏名・傍聴を希望する委員会を記入し、傍聴券を受け取ってください。時間になりましたら、各委員会室に、ご案内いたします。

委員会傍聴の注意事項

受付は、通常、委員会開会の1時間前から15分前までです。

傍聴の定員は各委員会5人で、先着順になっています。

委員会が途中で休憩をはさむ場合でも、休憩後のみの傍聴はできません。

傍聴の際、お渡しした資料は退出時に回収させていただきます。

